

## <高付加価値型農業に取り組む事例>

# ○ 清流をたたえる中沢棚田米「背炙りの詩」

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山形県村山市 中沢			
協定面積 17ha	田 (100%) 水稻ほか	畑	草地	採草放牧地
交付金額 356万円	個人配分			20%
	共同取組活動 (80%)	体制整備活動費、積立等		44%
		水路、農道、農用地等の維持・管理費		18%
		役員活動費、事務費		18%
協定参加者	農業者 26人、非農業者 1人			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

中沢集落は、村山市の北部に位置し、多様な農産物が生産される農業を中心とした地域である。この集落は、地域のまとまりが強く集落での話し合いを進め、高齢化等による耕作放棄の防止を目的に、第1期から制度の活用を開始し、水路へのU字溝設置や農道の整備・補修を行ってきた。第2期からは、生産性・収益性向上のため、機械や農作業の共同化を行ってきた。また、景観づくりとしての花いっぱい運動の実施や、集落活性化に向けて「なめこ祭り」を開催し、都市住民との交流を進めている。

### 3. 取組の内容

中沢の棚田は「やまがたの棚田20選」に認定となり、景観を生かした有機栽培の棚田米として販売。第3期対策では、高付加価値型農業への取組として、ブランド化による販売の拡大等を目指し活動に取り組んでいる。また、中沢棚田保全会田んぼボーイズを立ち上げ、東京浅草等にて太陽の恵み天日干し「中沢棚田米背炙りの詩」のPR活動も行っている。



【中沢地域の全景】



【中沢棚田米パンフレット】

**【集落の将来像】**

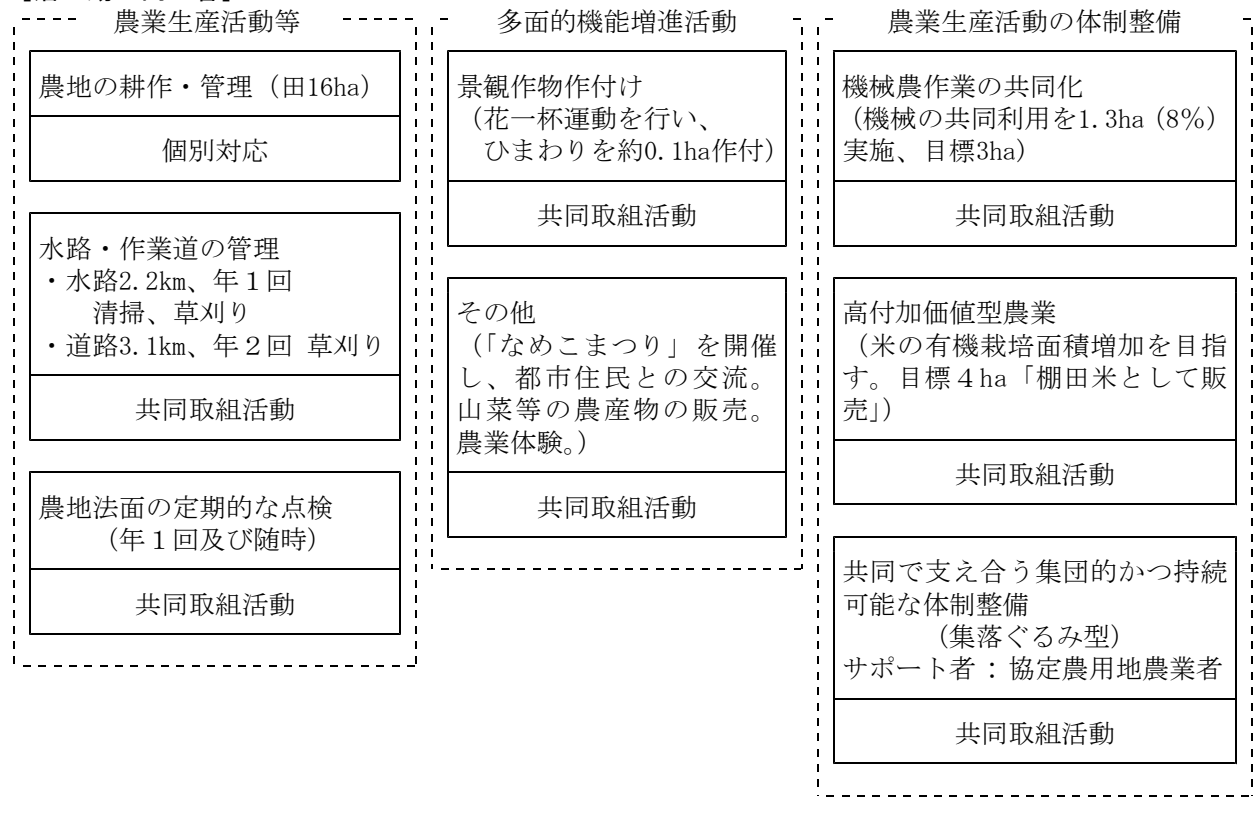
- 集落ぐるみの農業生産活動により現在耕作されている農地が変わらずに維持管理され、棚田や地域の豊かな自然環境を生かした、都市住民との交流の推進により地域内に活気があふれている。
- また、清流で育てた棚田米に付加価値をつけて販売して行くことで、農業産出額が増加し地域農業が活性化している。



**【将来像を実現するための活動目標】**

- 機械の共同利用面積の増加による生産コストの低減。
- 清流の棚田で生産した杭がけの棚田米を中沢棚田米「背炙の詩」として販売することで、高付加価値型農業の推進を図る。

**【活 動 内 容】**



**4. 今後の課題等**

今後も、耕作放棄を防止し、景観の良い集落形成や活性化のため、中山間地域等直接支払制度を活用した水路・農道の整備や機械・農作業の共同化の継続的な取組みに加え協定参加者によるサポート体制の確立を目指して活動に取り組んでいきたい。

**【第2期対策の主な成果】**

- 刈り取り・乾燥・粃摺りの共同作業を実施（H17:0ha、H21実績:1.3ha）
- 非農家・非対象農家との連携として、景観作物の作付けや農道の管理を実施（花一杯運動）
- 都市住民との交流による地域の活性化（なめこ祭りの開催）